

新年のごあいさつ

理事長 小田悦雄



新年あけましておめでとうございます。会員の皆さんはどのような

希望を新年に託されたでしょうか？

旧年の日本社会はあまりにも暗いことばかりでした。

新年は何より「明るく日々安心安全に生活できる社会の実現」がなされるよう願わずにはいられません。

私たちの不老会は県下五大学歯学部を始め、県や名古屋市のほか多くの団体・篤志家の皆さんの厚いご支援をいただき、今日深刻な社会問題になっている医師不足に必要な医学学生の教育や医療の進歩発展のため

編集発行
財団法人 不 老 会
〒460-0008
名古屋市中区栄
2丁目10-19
名古屋商工会議所内
電話・FAX
(052) 203-4580
ホームページ
<http://furo-kai.or.jp>

「無条件無報酬の献体・献眼運動」に真摯にとりくみ貢献してまいりました。

今年も会員同志の皆さんと共に「不老会の使命」を果たすべく、一層精進したいと念じています。

さて、懸案の「献体の塔の補修工事（五百万円余）」が県と名古屋市の助成を得て、新年早々完了する予定です。

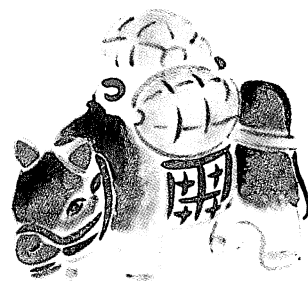
また、五大学の協力を得て、不老会活動の啓蒙宣伝を兼ねた「募金箱（約百ヶ所）」を大学附属病院と地方の公立病院の窓口を設置させていただきました。今後その成果を期待します。

更に新規なとりくみとして、国の法律による、財団法人の見直し手続

賀 正

皆様のご長寿と、ご健康を心よりお祈り申し上げます

平成二十一年元旦



愛知県乙川土人形

財団法人 不 老 会
理事長 小田悦雄

「き」に着手し、公益法人として新たな認可が得られるよう、従来の「寄付行為」に代わる「定款」を定めなければなりません。

新年の日本社会は激変激動する一年になると予想しますが、不老会の崇高な使命は微動だにしません。

高い志をもって新年も頑張りますよう。皆様のご健勝とご多幸をお祈りします。

濱島辰雄名誉理事長が

愛知県知事から表彰を

受けられました

濱島辰雄名誉理事長（二代目理事長）が去る十一月二十七日に愛知県土地改良事業団体連合会設立五十周年記念総会の席上で愛知用水の建設に尽力し土地改良事業の推進並びに県土の発展に多大な功績があったことにより愛知県知事より表彰状が贈呈されました。
誠におめでとうございます。

表彰状

濱島辰雄様

あなたは愛知用水の建設に尽力し土地改良事業の推進並びに県土の発展に寄与されたその功績は大でありますので愛知県土地改良事業団体連合会設立五十周年に当たり表彰します
平成二十年十一月二十七日
愛知県知事 神田真秋

謹賀新年

財団法人不老会

理事長 小田悦雄

顧問

名古屋大学

医学部長 濱口道成

名古屋大学

医学部長 郡健二郎

愛知学院大学

歯学部長 野口俊英

藤田保健衛生大学

医学部長 小野雄一郎

愛知医科大学

医学部長 石川直久

(社)愛知県医師会

会長 妹尾淑郎

(社)愛知県歯科医師会

会長 宮村一弘

(財)愛知県眼衛生協会

理事長 三宅養三

(社)名古屋市医師会

会長 細川孝

相談役

参議院議員

(碧海) 鈴木政二

愛知県議会議員

(名東区) 筒井隆弥

(西尾市)

川上万一郎

(半田市)

近藤良三

(大府市)

深谷勝彦

名古屋市民議員

(中川区) 久野浩平

吉良町長

(西尾幡豆) 山本一義

不老会関係

(西尾幡豆) 加藤豊

(守山区)

遠山のぶ

(半田市)

石川昭三

(千種区)

飛田壽美子

(瀬戸尾張旭)

野口悦子

(千種区)

鈴木忠男

(南区)

渡仲三

名譽理事長

(大府東浦) 濱島辰雄

副理事長

(千種区) 市原一敏

(岡崎)

松崎敏

常務理事

(中区) 久野格彦

(知多南部)

橋口安男

(豊橋市)

木戸忠雄

監事

(名古屋市立大学部会長) 大森鶴正

(愛知学院大学部会長) 加藤次男

(藤田保健衛生大学部会長) 近藤弘子

(愛知医科大学部会長) 武田幸生

(知多市) 森田尚二

(一宮市) 渥美栄夫

中区 木下隆昭

東区 亀井満洲雄

千種区 湯山徳夫

名東区 加藤敦生

守山区 岩月明德

北区 田澤彌太郎

西区 白木光男

中川区 福田一夫

中川区 安藤孝司

港区 宮本和子

熱田区 石塚紀夫

昭和区 榊原保

瑞穂区 青木一市

天白区 大角勲

南区 中村有章

緑区(代行) 日比野寿男

瀬戸尾張旭 笠原英城

日進愛知 木下靖己

豊明市 服部明美

大府東浦 久野喜久子

東海市(代行) 森彦治

支部長

知多市 柏原直廣

常滑市 笠野拓也

阿久比 山内康雄

半田市 服部康雄

知多南部 古川與曾夫

田原市 光島逸朗

豊橋市 内藤克巳

豊川 山口三治

奥三河 後藤米治

蒲郡市 田川悦子

西尾幡豆 鈴木孝平

衣浦 黒田典祝

碧海 柴田敬子

岡崎 清水純

豊田加茂 曾我仁義

海部東部 林清春

愛知西部 後藤芳徳

一宮市 沢井克己

稲沢市 平林兼一

西春日井岩倉 大野和江

尾北 藤田正行

小牧市 松本李生子

春日井市 二宮芳孝

東濃 早川美知乃

陶都 森岡美知乃

岐阜 鳥本真

揖斐本巣 若山正憲

大垣 田渡英男

養老 大久保健

事務所

事務長 北條員久

職員 大宮正美

風信子 門出の不安

低金利が続く昨今ではあるが、20歳代の貯蓄率が増加しているという。先行き不安が若者の消費行動を抑え込んでいるらしい。社会経済生産性本部と日本経済青年協議会が2008年度の新入社員を対象に実施した「働くことの意識」調査によれば「就社」よりも「就職」の意識が強い事が判った。

会社を選ぶ際に「自分の能力、個性が活かせるから」「仕事が面白いから」の理由が上位を占める。一方「一流企業だから」「福利厚生施設が充実しているから」などの理由は下位に留まった。とは言え、経済は世界規模で冷え込み、日本の今後も極めて不透明なままだ。

国際経済学の教鞭をとる友人のセミナーで学生達の質問の多くは就職や将来に対する不安に集中した。自分の学生時代に、卒業間際にこれほど先行きに不安を感じた記憶が無い。今の学生さんには悪いが社会人への洗礼がこれほど厳しくなかった自分の時代を思い、こっそり胸を撫で下ろした。

会 員 投 稿

献体の塔の清掃に関して

中区支部 梅村 昭博

私は誰かに奨められたわけではなく、自分の意志で「献体の塔」の清掃を行わせて頂くとうと心に堅く決意し、平成十九年十二月十八日から「献体の塔」の清掃をスタートして以来、必ず毎月一回掃除道具を持ち、東名古屋インテア近くにある平和公園内の「献体の塔」掃除を行わせて頂いて参りました。

お陰さまで昨年は十二回目の掃除を終え、一年間一日も入院することなく無事に掃除を続けさせていただけたことに深く感謝しております。



このように一日も入院せず、元気に掃除を続けられた感謝の気持ちで不老会へ百二十万円(月十万円十二ヵ月分)を寄付させて頂くことにより表したいと考えております。

短 歌

○冬晴れの澄明の気を吸はむとて
献体の塔墓前に背伸ぶ

碧海支部 鈴木 清美

○過ぎし日の夢の一と時今もなを
消しても消えぬ老の灯び

西春日井郡岩倉支部 服部 照子

○みなし児で七十年の吾と弟
夢かうつつか丑年迎ふ

豊田加茂支部 千種 美代子

○アメリカに人種を超えたる大統領
後れをとるな我が大和族

一宮市支部 入山 鎔

○神苑にひびく柏手おごそかに
永久にいくさの無きを祈れり

岐阜支部 日比 進

俳 句

○宝物殿南瓜の種を縁に干し

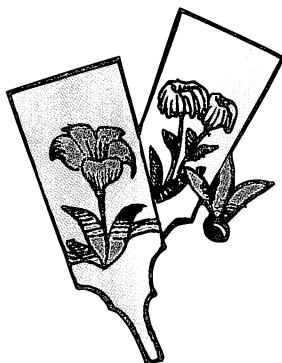
岡崎支部 大島 翠木

○鶴亀や紙切芸人初仕事

知多南部支部 川井 正彦

○茜染む丘は涅槃や年暮るる

西区支部 澤田 邦恵



医学のおはなし

私の奉職する名古屋大学では2008年度のノーベル賞受賞者が一挙に3人も出て、大いに盛り上がりつつある。2001年に受賞された野依先生を含め、素晴らしい先輩達を誇りに思うとともに、現役の世代からもぜひノーベル賞受賞者が出て欲しいものだと思う。

小林、益川両先生の物理学のことは全くの専門外だが、化学賞を受賞された下村先生の研究成果は私たちに直接関わるものなので、その功績の大きさをよく理解することが出来る。

下村先生は発光クラゲが光を出す仕組みに興味を持って研究され、緑色蛍光タンパク質(GFP)という分子を見つけた。GFPは生物の身体や細胞の中の分子の動きを見るために欠かせない道具として使われており、GFPを抜きにして現在の医学生物学の研究を考えることができないほどである。

これほど大きな意味のあるGFPだが、実際に研究の道具として使われるようになったのはほんの15年ほど前からすぎない。下村先生がGFPを見つけたのは1962年

のことなので、その後の30年ほどはあまり表舞台に登場しなかったことになる。実は下村先生自身、今のような応用を目的にしてGFPの研究を始められたのではなく、クラゲが光る仕組みへの純粋な興味がその発端であった。

名古屋大学にノーベル賞受賞者を生み出す基盤があることは喜ぶべきことだが、よく考えないといけないのは、GFPも物理学の小林・益川理論も30年以上前の業績であることだ。その頃の国立大学の建物と言え

ノーベル賞と自由な時間

名古屋大学・大学院医学系研究科

教授 藤本豊士

は本当に見すばらしく、研究設備や研究費の点でアメリカとの差は天地ほどもあったと言つてよい。今や設備面ではアメリカにかなり近づいているが、優れた研究を生み出す環境としてはどうなのだろうか。

私は研究者がユニークな研究を生み出すために必要なのは、何よりも自由な精神であり、じっくり考えることのできる時間であると思う。研究設備や研究費はもちろん必要だが、それらを獲得するために自由な時間が減つたり、研究の方向性が縛られ

てしまうことはよくない。昨今は短期間に誰もが役立つと認める成果が確実に出る研究を求めめる傾向が非常に強い。例えば現在使われている薬の効果を50%高める、装置の効率を20%改善するなどと言つた研究はわかりやすく、またかなりの確率で成功が期待できるので研究費を獲得しやすい。その種の研究はもちろん必要だが、一方で何の役に立つのか分からない研究が意図せざる発見を生み、大きな果実をもたらしてきたことも事実である。ペニシリンやレントゲン線の発見は言うに及ばず、GFPの発見もまさにそのような例と言えるだろう。

研究者も研究費を配分する人間も神様ではないので、確実に結果を見通せる訳ではない。誰が見ても必要な研究に研究費を割り当てることは当然として、何の役に立つのかはあえて問わず、人まねでない研究に研究費を配分し、時間をたっぷり与えることも同じように大切だと思う。先の見えない研究に投資することは勇気のいることに違いない。しかし新たな知識は、それがユニークなものであればあるほどいつか必ず人類の役に立つであろう。

30年前と今を比較して、クラゲが

光る仕組みに興味を持つ研究者が研究しやすいのはどちらの時代なのだろうか。ノーベル賞を受賞した研究の多くは、決して短期集中投資の結果ではなく、自由な時間と環境を与えられた研究者の好奇心がもたらした結果であることに学びたいものである。

支部・部会総会開催状況

- 十一月 四日 養老支部
- 十一月 八日 愛知医科大学部会
- 十一月十一日 岐阜支部
- 十一月十二日 衣浦支部

ありがとうございます

(高浜市在住)

前略 このたび角膜を頂いた

神谷昌子です。

ありがとうございます。

お礼の手紙が遅くなりすみませんでした。少しづつですが良い方向に向かっています。杉田眼科へ通いながら一日も早くよく見えるのを楽しみにガンバリます。

角膜の提供を受けありがとうございます。
ごさいます。

神谷昌子

先天的な障害を持つ

子供たちに

愛の手を

特定非営利活動法人

日本口唇口蓋裂協会

常務理事 夏目長門

生まれながらに体に障害を持っている子供たちに、援助をさせて頂いていく国連認定の資格を持つ非営利団体です。その中でも、口唇口蓋裂(こうしんこうがいれつ)はかつてはみつ口、兔唇(としん)と言われており先天的な病気の中で、最も頻度の高い病気です。海外では経済的な理由などで、手術を受けられない子供たちがアジアだけでも一万人にのぼるといわれています。この子供たちは手術さえ受ければ言葉話し、食事普通にも振る事が出来るようになります。親が貧しいという理由で、治療を受けられない子供たちに治療費として、また障害を持つ子供の両親の自立支援のために、お使いになっていないアクセサリやご家族のご遺品を使わせて頂けないかと思

ます。

日本口唇口蓋裂協会とは

日本口唇口蓋裂協会は、日本の三十大学の医学部・歯学部、歯科医師、看護師、歯科衛生士などの医療従事者が中心となり、先天的な障害に苦しむ母子の援助を行っております。中部経済連合会会長、中部電力株式会社川口文夫代表取締役会長をはじめ、トヨタ自動車株式会社豊田章一郎取締役名誉会長などが理事を務める我が国最大の口唇口蓋裂についての非営利のボランティア団体です。

ご寄付頂きたい貴金属は

次のような品々です

- ・金歯、銀歯、金属の付いた入れ歯 (歯が付いていても可)
- ・指輪、ペンダント、ネックレス(石が取れたり、壊れても可)
- ・一八金の万年筆の先
- ・金、銀製のコイン・銀食器等(金メッキなどで材質が不明な物でもかまいません)

・使用済携帯電話

・その他、貴金属類であれば何でも結構です。

リサイクルで得た

純益金はどのように

使われるのでしょうか

海外においては

- ・発展途上国での無料手術や医薬品の援助
- ・障害児の母子の自立のための援助

国内においては

- ・ミルクの飲めない子供たちの哺乳指導、いじめなどの悩みの相談
- ・乳幼児、保育園児、小学生を対象とした病気の説明の小冊子の印刷費

不老会の会員様

私共口唇口蓋裂協会では貴金属リサイクル運動推進に励んでいます。まだまだ周知されていないのが現状でございます。是非皆様のお力添いを頂きたくお願い申し上げます。今後不老会会報を通し、ご協力賜り

ました会員の皆様方のお声など報告等を兼ね随時掲載させて頂く予定にしております。また「献体の塔」の補修工事に付きましては微力ながらお手伝いさせて頂くつもりでおります。

ご送付については、お手数ですが封筒が貴金属等で破れないようにビニール等で包み、普通郵便で協会宛てにお願い致します。皆様方のご支援を心からお待ちしております。

なお、不老会理事長小田悦雄様に協会の相談役に就任していただいております。

送付先・問い合わせ先

〒四六四一〇〇五五
名古屋千種区姫池通三二七一一〇一
特定非営利活動法人
日本口唇口蓋裂協会
事務局

愛知学院大学歯学部内

Te l (〇五二) 七五七ー四三二二
Fa x (〇五二) 七五七ー四四六五
E-mail jcpf@naa.att.ne.jp
URL http://jcpf.agu.ac.jp